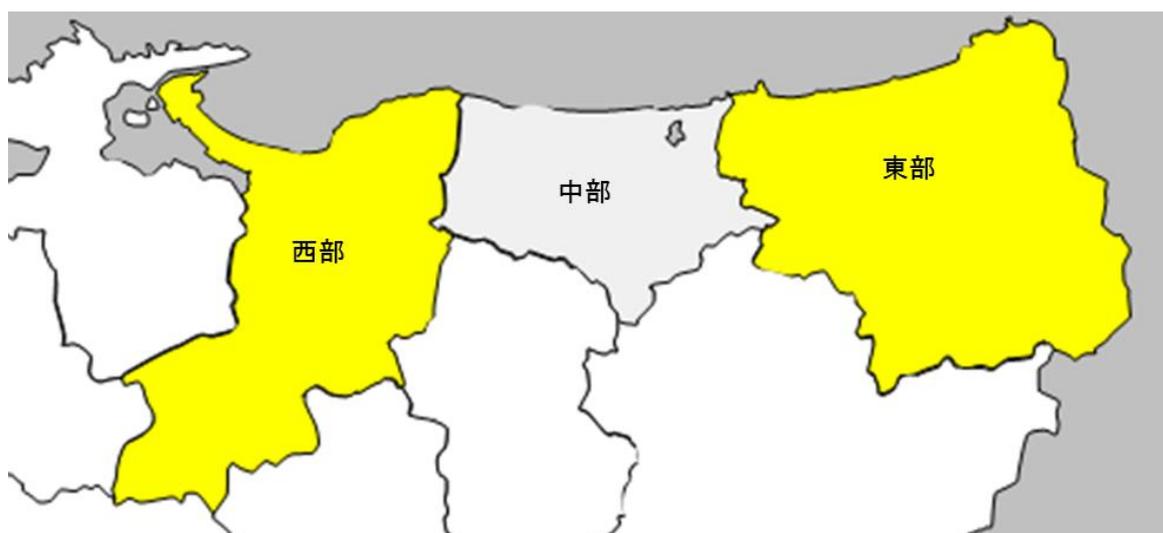


# 31. 鳥 取 県



## 3 1 鳥取県

### A. 医療提供体制の現状

鳥取県は、人口 59 万人で日本で最も人口の少ない県であり、医療圏の数も徳島県と並び 3 個と日本で一番少ない。鳥取県の特徴は、(1) 人口当たりの潤沢な医療資源、生かし切れていない医療資源、(2) 医療の中心は西部（米子）、他医療圏へも資源の分散である。

#### (1) 人口当たりの潤沢な医療資源、

全県を通しての人口当たりの総病床数の偏差値が 56、一般病床が 58、総医師数が 54（病院勤務医数 55、診療所医師 52）、総看護師数が 57、全身麻酔数 57 と、高水準である。

#### (2) 医療の中心は西部（米子）、他医療圏へも資源の分散

医学部のある西部（米子）は、高水準の医療資源が整っており、山陰の医療の中心である。一方、東部（鳥取）も中部（倉吉）も一定水準の医療資源が整っており、西部以外の医療圏へも資源の分散が行われている。これらの資源が有効に活用される、地域での適切な医療資源のマネジメントが期待される。

### B. 人口動向と将来に向けた地域の医療福祉の整備の方向性

#### (東部)

東部（鳥取）は、人口約 24 万人、面積 1,519/km<sup>2</sup>、人口密度は約 150 人/km<sup>2</sup>であり、地方都市型二次医療圏である。鳥取にはには医学部がないが、年間全身麻酔 1,000 件を超える県立中央病院（救命救急）、鳥取市立病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 55（一般病床 55、療養病床 53、精神病床 54）、総医師数が 47（病院勤務医数 46、診療所医師 48）、総看護師数 57、全身麻酔数 52 であり、医学部のない地方都市としては高レベルの医療提供体制である。総高齢者ベッド数は偏差値 49 である。

2010→40 年の医療の総需要が 2%減、0-64 歳が 37%減、75 歳以上が 32%増であり、今後この地域及び鳥取県全体での急性期医療提供体制の過剰感が強まることが予想される。まず、地域の医療資源を有効活用するための、地域での医療資源のマネジメントと同時に、将来の人口減少を見込み、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する、急性期病床のダウンサイジングなどが実施されることが望ましい。

## (中部)

中部（倉吉）の人口約 11 万人、面積 781/km<sup>2</sup>、人口密度は約 140 人/km<sup>2</sup>であり、過疎型二次医療圏である。中部には、年間全身麻酔 1,000 件を超える県立厚生病院がある。

人口当たりの総病床数の偏差値は 55（一般病床 60、療養病床 52、精神病床 50）、総医師数が 47（病院勤務医数 47、診療所医師 47）、総看護師数 57、全身麻酔数 54 と、地方としては充実しており、他の医療圏間との患者の流入・流出も少ない独立した医療圏を形成している。また、総高齢者ベッド数は偏差値 51 である。

2010→40 年の医療の総需要が 13%減、0-64 歳が 39%減、75 歳以上が 11%増であり、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換することが望ましい。

## (西部)

西部（米子）は、人口約 24 万人、面積 1,208/km<sup>2</sup>、人口密度は約 200 人/km<sup>2</sup>であり、地方都市型二次医療圏である。米子には鳥取大学（697 床、全麻 3,000 件以上、救命救急）があり、年間全身麻酔 1,000 件を超える山陰労災病院、年間 500 件以上の全麻を行う米子医療センター、博愛病院があり、山陰地方の医療提供の中心である。

人口当たりの総病床数の偏差値は 56（一般病床 59、療養病床 51、精神病床 54）、総医師数が 65（病院勤務医数 66、診療所医師 59）、総看護師数 57、全身麻酔数 64 であり、高レベルの医療提供体制である。総高齢者ベッド数は偏差値 62 であり、高齢者施設も充実している。

2010→40 年の鳥取県全体の総医療需要が 5%減、0-64 歳の医療需要が 37%減、西部（米子）の総医療需要が 6%減、0-64 歳の医療需要が 37%減を考えると、急性期医療の提供能力の過剰感が今後急速に強まっていくことが予想される。まず鳥取大学を中心に、島根県とも連携を取りながら、医療資源の地域マネジメント体制を目指すべきであろう。また人口減少に向けて、医師養成数の適正化と西部（米子）で働く医師が医師不足地域での勤務を促す誘導策、高機能病床のダウンサイジングを検討する必要がある。同時に、西部の 75 歳以上医療需要の 24%増加が予想されるため、急性期病床の一部を、後期高齢者に対応する病棟に転換する必要があるだろう。

表 31-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口	県内シェア	面積	県内シェア	人口密度	地域タイプ	高齢化率	2010→40年 総人口 増減率	2010→40年 75歳以上 人口増減率
全国	128,057,352		372,903		343.4		23%	-16%	58%
鳥取県	588,667	47位	3,507	41位	167.8		26%	-25%	24%
東部	239,829	41%	1,519	43%	157.9	地方都市型	24%	-24%	32%
中部	108,737	18%	781	22%	139.3	過疎型	29%	-28%	11%
西部	240,101	41%	1,208	34%	198.8	地方都市型	27%	-25%	24%
出典	<2010年人口>平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年 <2040年人口>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月								

表 31-2 病院数、診療所施設数

二次医療圏	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,605		6.7	(4.0)	99,547		78	(19.4)
鳥取県	45	0.5%	7.6	52	517	0.5%	88	55
東部	14	31%	5.8	48	196	38%	82	52
中部	11	24%	10.1	59	87	17%	80	51
西部	20	44%	8.3	54	234	45%	97	60
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 31-3 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,571,473		1,228	(474)	126,031		98	(106)
鳥取県	8,825	0.6%	1,499	56	679	0.5%	115	52
東部	3,553	40%	1,481	55	163	24%	68	47
中部	1,593	18%	1,465	55	134	20%	123	52
西部	3,679	42%	1,532	56	382	56%	159	56
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 31-4 診療所施設数（全体、無床、有床）

二次医療圏	診療所 施設数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床診療 所施設数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	99,547		78	(19.4)	89,613		70	(18.9)	9,934		7.76	(6.9)
鳥取県	517	0.5%	88	55	461	0.5%	78	54	56	0.6%	9.5	53
東部	196	38%	82	52	182	39%	76	53	14	25%	5.8	47
中部	87	17%	80	51	76	16%	70	50	11	20%	10.1	53
西部	234	45%	97	60	203	44%	85	58	31	55%	12.9	58
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 31-5 一般病床数、療養病床数、精神病床数

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	896,277		700	(226)	324,828		254	(196)	339,459		265	(206)
鳥取県	5,122	0.6%	870	58	1,734	0.5%	295	52	1,923	0.6%	327	53
東部	1,939	38%	808	55	766	44%	319	53	816	42%	340	54
中部	996	19%	916	60	315	18%	290	52	278	14%	256	50
西部	2,187	43%	911	59	653	38%	272	51	829	43%	345	54
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月			

表 31-6 救命救急センター数、がん診療拠点病院数、全身麻酔件数

二次医療圏	救命救急センター	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	がん診療拠点病院	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	204		1.59	(2.22)	377		2.95	(3.5)	2,577,228		2,013	(947)
鳥取県	2	1.0%	3.4	58	5	1.3%	8.5	66	15,888	0.6%	2,699	57
東部	1	50%	4.2	62	2	40%	8.3	65	5,208	33%	2,172	52
中部	0	0%	0	43	1	20%	9.2	68	2,604	16%	2,395	54
西部	1	50%	4.2	62	2	40%	8.3	65	8,076	51%	3,364	64
出典	平成24年10月 救急医学会				平成22年10月 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センター				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 31-7 医師数（総数、病院勤務医数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院勤務医数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	321,268		251	(87)	199,499		156	(63)	121,769		95	(31)
鳥取県	1,692	0.5%	287	54	1,088	0.5%	185	55	603	0.5%	103	52
東部	536	32%	223	47	320	29%	133	46	216	36%	90	48
中部	243	14%	224	47	149	14%	137	47	95	16%	87	47
西部	913	54%	380	65	620	57%	258	66	293	49%	122	59
出典	病院勤務医数と診療所医師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

表 31-8 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,039,059		812	(270)	858,317		671	(227)	180,742		141	(71)
鳥取県	5,893	0.6%	1,001	57	5,003	0.6%	850	58	890	0.5%	151	51
東部	2,392	41%	997	57	2,031	41%	847	58	360	40%	150	51
中部	1,087	18%	1,000	57	904	18%	831	57	183	21%	169	54
西部	2,414	41%	1,006	57	2,068	41%	861	58	347	39%	144	50
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

ここでの「看護師」は「看護師」＋「准看護師」

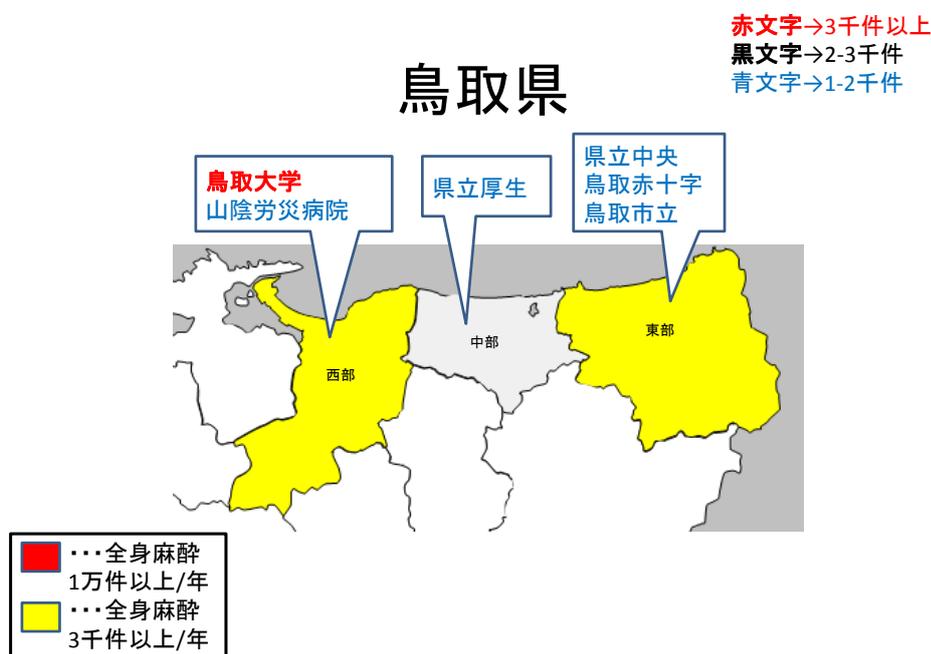
表 31-9 療法士数と回復期病床数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	95,471		74.6	(41)	63,959		49.9	(44)
鳥取県	712	0.7%	121	61	591	0.9%	100	62
東部	199	28%	83	52	185	31%	77	56
中部	139	19%	128	63	162	27%	149	73
西部	375	53%	156	70	244	41%	102	62
出典	平成23年病院報告 厚生労働省 平成23年10月				平成25年3月全国回復期リハ病床連絡協議会			

表 31-10 在宅医療施設（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院、訪問看護ステーション）

二次医療圏	在宅療養支援診療所				在宅療養支援病院				訪問看護ステーション			
	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護ステーション	県内シェア	75歳以上1万人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,058		10.0	(5.4)	779		0.55	(0.6)	6,814		4.84	(1.5)
鳥取県	63	0.4%	7.4	45	2	0.3%	0.2	45	45	0.7%	5.3	53
東部	22	35%	6.8	44	0	0%	0	41	14	31%	4.3	46
中部	10	16%	5.6	42	0	0%	0	41	8	18%	4.5	48
西部	31	49%	9.0	48	2	100%	0.6	50	23	51%	6.6	62
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成24年11月				介護サービス情報公表システム 厚生労働省 平成24年12月			

図 31-1 医療圏別基幹病院別全身麻酔手術数



(平成 23 年医療施設調査(10 月 1 か月分)の数値に 12 を掛けたもの)

表 31-11 総高齢者ベッド数、介護保険施設ベッド数、総高齢者住宅数

二次医療圏	総高齢者ベッド数				介護保険施設ベッド数				総高齢者住宅数			
	総高齢者ベッド数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設ベッド数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	総高齢者住宅数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,696,557		121	(23.2)	936,747		67	(12.5)	759,810		54	(20.5)
鳥取県	11,165	0.7%	131	55	6,408	0.7%	75	57	4,757	0.6%	56	51
東部	3,828	34%	117	49	2,491	39%	76	58	1,337	28%	41	44
中部	2,192	20%	122	51	1,238	19%	69	52	954	20%	53	50
西部	5,145	46%	149	62	2,679	42%	77	59	2,466	52%	71	58
出典	田村プランニング(平成25年1月データ) 介護保険施設ベッド数と総高齢者住宅数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 老人保健施設(老健)収容数、特別養護老人ホーム(特養)収容数、介護療養病床数の合計				田村プランニング(平成25年1月データ) 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅、その他の合計			

表 31-12 老人保健施設（老健）収容数、特別養護老人ホーム（特養）収容数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	特別養護 老人ホーム (特養) 収容数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護療養 病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
鳥取県	3,074	0.9%	36	69	2,965	0.6%	35	49	369	0.4%	4.3	47
東部	961	31%	29	58	1,243	42%	38	52	287	78%	8.8	55
中部	677	22%	38	72	554	19%	31	45	7	2%	0.4	39
西部	1,436	47%	41	79	1,168	39%	34	48	75	20%	2.2	43
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 31-13 有料老人ホーム、グループホーム、高齢者住宅

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	グループ ホーム	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	高齢者 住宅	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
鳥取県	1,014	0.3%	11.9	44	1,079	0.6%	12.7	51	872	1.0%	10.2	60
東部	251	25%	7.7	41	261	24%	8.0	43	205	24%	6.3	50
中部	51	5%	2.8	38	368	34%	20.6	64	97	11%	5.4	48
西部	712	70%	20.6	49	450	42%	13.0	51	570	65%	16.5	76
出典	田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)				田村プランニング(平成25年1月データ)			

表 31-14 ~64歳人口、75歳以上人口の推計

二次医療圏	~64歳人口			2010年を100とした ~64歳人口			75歳以上人口			2010年を100とした 75歳以上人口		
	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040	2020	2030	2040
	全国	88,023,301	79,833,026	69,345,059	89	81	70	18,778,797	22,774,034	22,232,154	133	162
鳥取県	366,270	319,004	272,571	84	73	63	93,967	110,609	105,551	110	130	124
東部	153,410	132,889	113,388	85	73	63	35,666	43,293	42,908	109	133	132
中部	64,231	55,237	47,363	83	71	61	18,370	21,146	19,820	103	118	111
西部	148,629	130,878	111,820	84	74	63	39,931	46,170	42,823	115	133	124
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月											

表 31-15 2010年→40年の医療・介護の需要予測

二次医療圏	地域タイプ	2010→40			
		総医療需要 増減率	64歳以下 医療需要 増減率	75歳以上 医療需要 増減率	総介護需要 増減率
全国		10%	-30%	58%	50%
鳥取県		-5%	-37%	24%	20%
東部	地方都市型	-2%	-37%	32%	27%
中部	過疎型	-13%	-39%	11%	8%
西部	地方都市型	-6%	-37%	24%	20%
出典	平成22年国勢調査人口等基本集計 総務省統計局 平成23年10月 日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 平成23年度 介護給付費実態調査報告 厚生労働省 平成22年度 国民医療費 厚生労働省				

※ここでの医療需要と介護需要の予測は費用ベースに年齢層別の人口増加を加味したものであり、人々の医療受療率、介護サービス受給率が2010年時点と変わらないことを前提に算出している。

図 31-2 鳥取県 2010 年→40 年医療介護需要の増減予測

